

令和3年度茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会6月定例会議事録

- 1 日 時 令和3年6月9日(水)午後1時30分～午後3時10分
- 2 場 所 市役所本庁舎4階 会議室1
- 3 出席者 後藤会長、細田副会長、林副会長、矢野会計、三觜監事、前田監事
河内昇、城田禎行、篠原徳守、真野宗直、高山和茂、森谷義明、貴島義夫
鈴木喜明、滝本誠、新倉昭人、雫石剛、末松一豊、朝倉哲男、日向清志
長嶋憲治、鈴木健二、高木英明の各委員
欠席 倉金榮、秋本武久、尾坂清の各委員
スポーツ推進課(仲手川課長、荒ねりんピック担当課長外)
健康増進課(伊藤課長補佐)
環境事業センター(富田センター長)
市民自治推進課(三浦課長、加藤課長補佐、窪田副主査、渋谷
事務局(山田)

4 会議の経過

- (1) 開 会 細田副会長
- (2) あいさつ 後藤会長
- (3) 議 題

- ① 令和3年6月12日開催「情報交換会」について
資料に基づき市民自治推進課長より説明した。
- ② 防災部会「避難行動要支援者制度に対するアンケート」について
資料に基づき林防災部会長から説明した。
- ③ 第1回ホームページ管理運営チーム会議について(報告)
資料に基づき事務局より報告した。
- ④ その他

ア 情報交換について

(ア) 市内の犯罪発生状況について

資料に基づき警察協議会委員の細田副会長より説明があった。

一番左側の振り込み詐欺は1件ということで、5月末までのトータルでも6件と非常に少ない。地区で防止をするということが浸透しありがたいと思います。ただずっと右側にいくと自転車盗があります。これが5月は23件で累計で116件、欄外にすべての犯罪の累計総トータルが出てます。これが198件なんですね。そのうち60%が自転車盗なんですね。これが収まるとまだまだ件数が減ってくると思います。形態別では、高齢者の事故が昨年と比べて38件も増えてるということで、比率から言っても高い。一番下の子どもの事故ですが、これは前月もそうでしたが、減っていますので安心です。自転車の犯罪や事故は昨年より55件も増えています。次のページに各地域の振り込み詐欺の一覧がありますので、ご覧になってください。

(会長) 先月は鶴嶺東地区で1件発生しております。情報によりますと、40代の女性が架空請求に引っかかったようです。最近は犯人側もあの手この手の様々な方法を考えて騙そうとしているのでご注意を喚起していただきたい。また警察では今、キャンペ

ーンができないので、犯罪防止のビデオを購入したそうです。地域で活用もできるようですので、警察の方に話していただければと思います。

(イ) 席上配布

鶴嶺東コミセンだより、市民活動PCサポート、ちがさきサポセンニューズレター、ユースボランティア茅ヶ崎2021、小和田地区 君がみちの名前を決める、松浪コミセンだより

(鶴嶺東地区) 毎月出しておりますが、内容としてはコミセンに関連のものを流しております。よろしく願いいたします。

(市民自治推進課長) まず市民活動PCサポートということで案内をさせていただいております。コロナ禍で、なかなかみなさん顔を合わせて活動ができないということで、サポートセンターはIT支援の方に力を入れてございます。毎月2回、第1と第3の月曜日、予約制にはなるんですが、市民活動の皆さんのパソコンのサポートをさせていただきしているということで、そちらの周知になります。ニューズレターにも同じ内容が入っておりますので確認いただき、これから何か新しいことを始めてみようという地域におかれましては、ぜひご活用いただくようお願いいたします。

(小和田地区) 君がみちの名前を決めるということで、これは防災のまちづくりということで、昨年から防災関係でこの赤松エリアを対象に模擬訓練をしたり、防災関係のまち歩きをしたり活動してきました。今年度それにさらにプラスして、小和田地区も結構狭い道もありますし、住民も名前を付けたほうが何かと逃げやすいんじゃないかということで、防災がらみで小和田の赤松エリアを第1弾として、道の名前をつけるということで活動をしました。これを赤松町エリア約2000世帯ありますけれども、そこに8カ所通りに名前を付けてくださいということでアンケートを取りまして、数の多かった3つの候補を小和田地区に住んでいる皆さんに、どの名前がいいですかということで回答をいただきました。そして、小和田小学校、赤羽根中学校も含めて600数名の回答を得まして、その結果8カ所の名前が決まりました。今後これをベースに看板を作ろうということを考えています。最終的には小和田地区全体に広がっていきたいと思います。

(松浪地区) 松浪コミセンだよりは毎月皆さんにお目通しいただいているんですが、今回はコミセンの屋上が出てます。屋上は一時避難場所となっております。また松浪小学校の生徒たちが松浪コミセンは自分たちの区域じゃないということで、あまり知らないんですね。例えば出口町とかひばりが丘は地域外になっちゃうんです。それで松浪小学校の先生がこれをなんとかしたいということで、子どもたちが見学できないかという話がありまして、昨日から3年生なんです、36名ぐらい来られて、16名を屋上にあげて、下では花を植えてくれてるんです。松浪小学校は辻堂海浜公園に花を植える運動をしている関係から花があるからコミセンにということです。一クラスずつでも呼んで避難場所と子どもの家なみっこを紹介しました。また消防署もあるので消防訓練をできませんかとお願ひしたら、毎日いろいろな訓練をやっているんで、生徒たちが来るのに合わせて訓練をしてくれま

した。子どもたちは消防署の訓練には感激してました。今日も11時半まで子どもたちとお付き合いをしました。また明後日は3クラスくらい来る予定です。そういうことでコミセンと小学校が連携をしないといけないということと、隣に井戸のポンプがありますが、これまで使用していなかったからか赤い水が出ています。それで毎月1回井戸のくみ上げをやろうということでコミセンのスタッフと話をしています。

(会長) 湘南地区の方では、先々週タウンニュースで載せていただいておりますが、ながら見守り活動ということで、ひまわりを皆さんに配布して朝晩水をあげて、その間子どもの見守りだとかで防犯意識を高めていただこうということで、防犯協会で湘南地区をモデル地区としてやってみようということになりました。3月ぐらいにミニひまわりの種を購入して、大きめのプランターに3つほどひまわりを植えて6月1日から皆さんに先着50名様に配布するというので、昨日ですべて配布は終わりました。中にはタウンニュースを見て湘南地区限定と書いてあったはずなんですけど、香川だとか東海岸からも欲しいということで、残ったらという話でしたが、ちょうど予備があったので昨日取りにきていただきました。そういう活動を今年のひまわりだけでなく、今度はパンジーかなんかを植えてもらう、でまた来年はひまわりをということで、継続して防犯活動、見守り活動をやっていこうかなということで進めています。

イ その他

(事務局) 名簿の添付の説明

(4) 行政からの依頼事項等について

① 「令和4年度事業実施方針(骨子)」ほか2件のパブリックコメントの実施について

市民自治推進課長より資料に基づき説明があった。

② 第34回全国健康福祉祭(ねんりんピック)について

ねんりんピック担当課長より資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり

(問) ねんりんピックのことではなく、オリンピックのことなんですけど、開催まであと44日ぐらいですか、迫ってきてるんですけど、茅ヶ崎は北マケドニア共和国のホストタウンになってますよね。その選手団は受け入れできるんですか。それとも受け入れは中止するんですか。

(答) マケドニアとは交流してるんですけど、実際に感染症予防のため、選手は直接選手村に入られるということで、茅ヶ崎の方に大会前に何か運動したりということは、今のところないです。終わった後も行動規制が出てまして、例えば茅ヶ崎市内に来た場合には、そこでうつしてしまう可能性があるんで、スポーツ選手との直接交流というのは、今のところ安全安心ということで、選手の方もそうですし、市民の方々のことも考えた場合、現実的にはできないという状況です。(スポーツ推進課長)

(問) このねんりんピックは高齢者を中心に国民の健康の保持、増進、社会参加、いきがいの高揚とか、活力ある長寿社会に寄与することあるんですけど、このねんりんピックの茅ヶ崎のサーフィンの大会には年齢制限があるんですか。

(答) ねりんピックはすべての競技が60歳以上の方が選手として構成されます。

(問) 選手は協会の方で決めるということですね。

(答) 県の協会の方が中心になりまして、グランドゴルフなどは行う予定になっておりまして、サーフィンの方は茅ヶ崎の協会も絡んで選抜するようです。

(スポーツ推進課長) 最後にオリンピック関係の最新の情報をお伝えさせていただきたいと思います。6月の28日に聖火リレーの開催が予定されております。スタートは6月28日の日に平塚駅の南口を3時40分ごろ出まして、茅ヶ崎公園の野球場の前を5時頃到着ということでは話が進んでいます。コース等につきましては、今お配りさせていただきました資料のとおりでございます。この神奈川県等が主催する広報周知につきましては、県のたより、また市も協力という形で広報紙、広報掲示板などでお知らせしています。今日お伝えする一番の内容としましては、この聖火リレーを果たしてやるのかどうかの核心のところはまだ決まっていないところなんです、神奈川県では新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては今後日程やルート、実施方法が変更される可能性があるとなっております。6月7日のNHKのニュースで黒岩知事の発言がありまして、今月28日から県内で行われる予定の聖火リレーの開催方法について、感染状況を見極めて判断するとしてうえて、来週には今月20日までのまん延防止等重点措置を解除できるかどうかを検討することになるので、それと合わせて考えたいとの発言がNHKのニュースで流れております。こういったことで今なかなか実際にやるのかどうかということは言えないんですが、走った場合にはこのような形ということで、もし中止ということになった場合にはホームページ等でもできるだけ早く流しますが、ニュース等でも流れますのでいろいろニュース等をみていただいてご判断いただくことになると思います。それと今神奈川県内トーチが回ってまして、今日の3時までなんです、下のロビーにトーチが展示されてますので、会議が終わるようでしたら、ぜひご覧になっていただきたいと思います。

③ 新型コロナウイルスワクチンの今後の接種の考え方について

健康増進課課長補佐より資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり

(問) 集団接種を管理しやすいという部分では確かにいろんな方策ができていだろうと最初の混乱に比べたらいろいろ対策が組まれていくんだと思うんですが、集団接種でない、それぞれのクリニックさんいろいろなところに皆さん多くの方が、電話をかけて予約を入れてやっていくというので、この予約をスタートしたときは電話が殺到してパンクしてる状況があったり、今ですとほかの市町村では一部には予約が開始されたらどこが混んでますよとネットで見ることができるだとか、いろいろ集団接種会場というのはいろんな処理の方法が組めるんでしょうけれども、そのまんまの状態では相当混乱するんじゃないかと想像するんですが、私も3日目にやっと電話がついたところのクリニックで予約が8月でした。国の方針に対してもどこのクリニックが空いてる混んでもわからないので、繋がったところで皆さん予約を入れると、現実の姿がそれだったと思うんですね。その部分がここでは全く触れられてなくて、今検討中ということでしたら、どういうふうな方策をしてくのかというのを、いつまでに示すたどか、しておかないとまさにだんだん仕事をしながら、接種をする人などは非

常に日程の調整が難しい方たちが、接種をする段階になった時に、それ以上に皆さんに負担や制約をかけたり、いろんなことがあると思うんです。それらに対してももう少し先がそういう方たちに見えるようにしていただきたいと思うんですがいかがでしょうか。

(答) 市が7月末までという方針を出している中で、実際その集団接種以外の個別接種で接種ができる方たちは8月に入ってしまうような方たちも多数いらっしゃる中で、そういった方たちを少しでも早く接種ができるような形にするにはどうしたらいいのかという考え方を持っているのかというご質問でよろしいでしょうか。当初新型コロナウイルスワクチンというものが、新しい技術を使ったワクチンだということもございまして、市民の方はもちろんのこと、医療従事者、先生方の方も接種に当たっては非常に慎重になられていたということがございます。先行して医療従事者の接種が先行していくなかで、様々な症例が出てデータが蓄積されていくなかで、当初慎重だった先生方も協力してくださる先生方も多数でてまいりまして、今、約90の個別接種会場があるという状況でございます。しかしながら通常の診療もありながら、多くの先生方は1週間のうちのこの曜日とこの曜日のなかでもこの時間帯にワクチンの接種をするというような、通常の診療のスケジュールを組み直してやって下さっているところがあるので、ワクチン接種のみを実施できればまた多くの皆様に早く摂取できることもあったんでしょうけれども、当初はそういう形でスタートしたところでございます。しかしながらやはり患者の皆様からの問い合わせが大変多いということで、クリニックも休日にワクチン接種をして頂いたり、診療時間を超えてワクチン接種をしていただくというような対応の中で、実際の接種の枠といいますか予約の枠を広げていただいて、集団接種の予約が取れなかった方々などを個別接種のそういったところで、予約ができていたというような状況もあるところでございます。しかしながら市としましては、7月末という方針を出している中で、拡大する枠につきましては、仮に個別接種で接種をしなくていいという方が皆さん集団接種会場に予約したいとおっしゃっていただく場合であっても、予約をしていただけるだけの枠を計算し、拡大させていただいているところでございます。しかしながら自分のことをずっと見てくださっている先生のところでは接種したいという市民の方もいらっしゃいますので、7月末と市は言いながら個別接種で8月の予約はおかしいんじゃないかという声も確かにいただくんですが、そういった安心して打ちたいという市民の方に対して、7月末までということで集団接種の方にといいものもなかなか申し上げにくいところがございますが、大勢といたしましては、仮に早く打ちたいという方が打てるような枠の拡大をしているところでございます。

(問) それはそれとして、現状に対して問題解決の方策を出していただくのはいいんです。それは予約した人たちがいろいろコントロールするというのはわかるんですが、問題は次のステップに入った時に同じような仕組みの展開をやると繰り返されませんかということなんです。年代が若くなればなるほど、自分の行動パターンの中からちょうど入れる日が、要するにクリニックだと日にちが決まって受けてるわけですね。集団接種がフルタイムでやってる、要するに市民の方はそういう情報をすべてとれるわけではないので、情報を上手に流してあげて、どうやって自分が予約を入れていたら

いいんだろうという自信が市民の人に伝わらないと、どういうふうな予約システムがありますよだけでは、なかなか従来予約の中で混乱した最初の数日間のパニックみたいなことが、また新たな対象者になるたびに繰り返されませんかということなんです。

(答) わかりました。今の接種状況についてはご説明させていただきましたので、次の64歳以下の方の部分について御説明いたします。64歳以下につきましても個別接種、各クリニックにつきましても、予約システムを使うところと使わないところが同じように出てくると思います。ただ予約システムを使うところについてなんですが、1回ごとに予約を分けるのではなくて、1回予約をしたら2回目も予約ができるセット予約になるような運用をしてみたいと考えております。あと決定事項ではないんですけども、やはりシステムを使える方ばかりではありませんので、例えば集団接種会場で10の枠があったとします。そうしましたらシステムで自分で操作して予約していただける枠を5にして、コールセンターに電話してセンターで操作してでしか取れない枠を5とする。そういった形でシステムを利用できない方が予約がなかなか取れない、電話が混みあって取れないというような問題も解決していきたいということで、システム会社と様々検討しているところでございます。個別のクリニックにいたしましても、予約システムを使うところには、そういった形での運用をお願いしてみたいと思います。直接予約のところにつきましても、なかなか市の方もどのようなやり方でと言えないようなところもありますので、各クリニックさんでご検討いただくようになると思うんですけども、どの病院はどの方法みたいな周知の混乱が今回ございましたので、そういったところは事前にしっかりと調整をしたうえで、予約開始に先んじてご案内してみたいと考えております。

(問) ありがとうございます。たぶんそういうところが、皆さんのところに情報が上手に伝わらないと、最後は予約は自分がやりなさいということだから、そういう指針がしっかり見えるようにしていただきたいなと思います。

(答) 承知しました。

(問) 先月の会場で赤いチラシが示されて、これが間もなく外注ポスティングされますというご案内だったんですけども、その外注ポスティングが地区によってバラバラで、ひどいところは5月20日受付開始の当日配られるというレベルの低さで、非常に疑心暗鬼が生まれたということがあります。それともう一つはそのチラシがいわゆるかかりつけ医のみ受けつけますよというような表示が備考欄に書いてあって、実際予約システムもやりますよと言ってながら、かかりつけ医でないという表示になっているやり方をしているところもあったりして、あの資料が編集されてから配られるまでの間に、どうもクリニックの先生がいろいろやり方を変えちゃったんじゃないかとそういうところがありまして、5月20日といいながら1週間も前から受付をして予約をしますよという回答が出てるところもあったりして、その前に予約が殺到するという現象がいっぱいあったということで非常に混乱したと思ってます。というところを適正にやっていただきたいというのが要望なんですけれども、やはり65歳以上の方はお医者さんとの間が密接なものですから、それがそれぞれに不安を解消する安心のやり方だと思いますので、今回はクリニックを中心に予約をしていくという仕組みは成功されたと思います。集団接種にはなかなか目がいかなかったんですが、

かえって予約をするのには自分の息子さん、娘さんなど若い力で予約を取っていた。というようなこともあったような気がします。それでそのことに長けた人が6月7月を押さえていっちゃった。われわれがデモンストレーションやっていた時にもうすでに大半取られていて、8月の半ばです、松浪のクリニック第1回目を19日に取るのがようやくでした。次にキャンセルしてもう1回やったら2時間ほど先の枠が取れたというのが現実でした。9月は出てこない。予約が決まってませんということで、非常に宙ぶらりんな状態で、それが市の中で全体で、どのような人数がいたかということを知りましたら、約4000件あると、それをどのような形で処理していくかということで、この資料が出来上がっているというようなことで、これが国の要請で行われたと、画期的な数字が、かなり大幅に増量されているということになってますけれども、これをやっぱりワクチンが確保されているのか、それからお医者さんが確保できているのか、こういう体制が確実に実行されていけるのかということというのが、逆に言ったら不思議なくらい不安になってきますね。これで最初の案だったらいつ終わる予定だったのか、10月とか11月じゃなければ終わらなかったんじゃないかなと、65歳以上がですよ。そしてそれが7月までに押し込めというような命令の中でこれがなっているとしますんで、これが本当かなと非常に不安になってます。だからこの中に65歳以上の方の何人が対象だったか表示がないんですね。たぶん5万人ぐらいだと思うんですけども、その数字を確認をしていただきたいと思いますので、いくつかの点を含めてお尋ねしましたので、お答え願います。

(会長) 委員すいません、すでに終わった話をまた繰り返しやっていると時間がかかってしまうので、申し訳ないんですが、これからどうするのかということと、あともう一つは先ほどお話がありましたけれども、集団接種が7月末じゃなくて全体的に7月末までに終わらせようと今努力をしているということですので、診療所とかいろいろ病院もですね、日曜日でも接種するとかいろいろ手を打ってますので、今日は保健所の担当者1名しか来てませんが、今いろいろ混乱してますので、あまり前のことを言っても非常にかわいそうだと思いますので、どうでしょうかね。

(委員) 先ほど湘南の委員の方からも、今やってこれまでの2週間にいろいろミスとか混乱とかあったことを反省材料として、今後に生かしていただきたいという意味を込めて今私はどういう形で消化してるのかなというのをお願いしてるわけですし、今申し上げたことは電話で職員にいろいろとお願いした状態でしたので、初めて申し上げるわけではございません。

(答) 会長とは先日いろいろお話をさせていただいて、お話をちょうだいしておりますし、この場でもお聞きしたというところでして、今後より良い形でスムーズに接種が進むように、今回の件、さまざまな課題がございましたので、同じ事が起こらないように慎重に検討して進めてまいりたいと思いますので、ぜひご協力よろしくお願いたします。

(問) 私は藤沢市で第1回目を終わって、2回目ができるんですけども、茅ヶ崎の場合65歳以上の方にいっぺんに接種券を配られたんで、最初に殺到したと思うんですけども、藤沢市はそれを3回に分けて高齢の方から順に65歳が最後という形で発送してるので、予約が3分の1で済んでるんですね。時間的な対応が、今後茅ヶ崎もそ

のような形を考えられるのかどうか。

(答) 先ほど接種券の発送時期はずらしてとお話をさせていただきましたが、発送の時期もずらして、予約開始の時期も段階的に第3順位の基礎疾患を有する方、高齢者施設の従事者、高齢者の次の順位の方を考えなければなりませんので、そうした方たちの優先予約期間だとか、そういったことをさまざま検討してございますので、一度に集中することがないように考えてまいります。

(問) 今のは年齢で切ってるんですよ。87歳まで1回目の発送、次は何歳までを発送、3つに分けて予約が殺到しないようにしてるんです。

(答) 藤沢市にもヒヤリング等しながら勉強してまいりたいと思います。

(5) 閉 会 林副会長